

# 学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.77

## 緩やかな繋がりを 支える土壌

和歌山大学 観光学研究科

博士前期課程 1年

おおさと なおみ

大里 直美 (和歌山県日高川町出身)

近年、児童への教育効果・地方創生の2つの側面から注目を集めている体験教育旅行について、発祥の地とされる飯田市の取り組みを調査させていただきました。体験教育旅行とは、都市部の学生が農山村での滞在を通じてさまざまな農山村体験を行う修学旅行などのことで、その推進には、都市側の学校や、農山村側の受け入れ組織・インストラクター・農家の方々・行政など、多様な主体が関わっています。飯田市において、こうした取り組みが長く続き、教育旅行の行き先として選ばれ続けているのは、携わる方々の高い熱量や地域の課題と向き合う当事者意識があつてのことだと感じています。また、その根底には、長きにわたる公民館活動や、住民と行政との協働により築かれた地域の主体性を育む仕組みや、地域内だけでなく外との緩やかな繋がりを大切にするという、地域づくりの土壌を感じました。

今回、快く調査にご協力くださった飯田市の皆さまに深く感謝申し上げます。



農家民宿「ふれあい農園おおた」にて